



こんにちは 村田 けい子です

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

090-9144-8534

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

2019.2.22

No.192

春をよぶつどい

2月24日(日)14:00~16:30

人権センター

会費 500円(お茶菓子代)

変更

オープニング 沖縄の三線演奏
第一部 藤岡義英



ごあいさつ
大北森林組合の不正事務など
県政の諸課題について

村田桂子
取り組んできた町政の諸課題

第二部 お楽しみアトラクション
鈴木伸吉さんの絵画展同時開催決まる！
住民のみなさんの手仕事をご覧ください。

主催 日本共産党後援会 (町の未来を語る会)
☎ 村田(56)2868 竹花(56)1298

《会場の変更について》公民館が「特定の候補者のための政治活動を禁止している」という理由で貸すことはできないとのことです。会場が「人権センター」に変更になりますが、ご了承ください。

ジェ！
ジェ！
ジェ！

安倍首相が「トランプ大統領にノーベル平和賞を」と推薦した！

24日の沖縄県民投票を前に、「結果がどうあっても基地建設を進める」と断言する安倍政権は、民主主義や地方自治を踏みにじって恥じない独裁政権です。その安倍首相が、何とトランプ大統領をノーベル平和賞に推薦したというから呆れます。メキシコ国境に壁を建設することを議会が認めないと「非常事態宣言」をして勝手に進めるトランプ大統領。

自衛隊を憲法に書き込むのも、適齢期の青年の名簿を強制的に集め、管理したいとの本音も明らかになりました。首相の狙い「非常事態条項」はトランプさんがお手本でしょうか。

地域の話

道祖神にお参りする「引馬」の行事



西塩沢のRさんが、子どものためにワラで馬を作り、道祖神まで引いて行ってもらい、そこでおはぎもちをみんなで食べるという伝統行事が今年も無事に行われました。

インフルエンザや風邪が大流行して、日延べになっていましたがようやく2月17日に実施。お天気にも恵まれて二人のお子さんが綱を引き道祖神参りができました。ワラつとに入ったおはぎを道祖神に擦り付けた後、参加者みんなでいただきました。

その後このワラ馬は家の屋根に投げ上げられ、子どもを守ります。子どもたちが病気にかからないように、健やかに育てほしいという祈りの行事です。

週刊上田の記者さんも取材に訪れていましたが、いつまでも続いてほしい行事です。



黄金の杯 再び



今週のパチリ

陽だまりに黄金の花が開いています。福寿草です。

この花が咲くと、春がすぐそこまで近づいていることを確認して、うれしくなります。

我が家の福寿草は北側の玄関先にあるので、まだまだ蕾は固いままです。福寿草の花言葉は「祝福」「幸せを招く」「永久の幸福」だそうです。

2月は「光の春」といわれます。我が家の福寿草も咲くころはすっかり春となるでしょう。

2.17 フラバールバレー in 権現山体育館

1, 2, 3位を町区独占！ 塩沢のチームも3

位に

綱引き大会から競技種目を変えて3年目というフラバールバレー大会。これまでで最多の29チームが出場しました。

フラバールバレーは、1試合 7人以上10人の選手登録が可能で、コートには常時5人が入り試合をします。

サーブはそのまま受けますが、返ってきたボールは1バウンドさせてから受けます。必ず違う3人が受け止めてから相手コートに返さなければなりません。

ボールはソフトですが、形がラグビーボールのようで、イレギュラーバウンドをします。そのため、バウンドすると対応がむづかしいのと、「必ず3人」というのがハードルです。



ワン、ツー、スリー」と掛け声がかかり、コートと一体に声援も飛んだ。

町区はいつも上位を占め、今回も落ち着いた試合運びで結果を出しました。

塩沢チームは昨年より、月2回の練習を重ね、今年は3チームを組織。女性チームは塩沢連合として出場しました。練習の成果が出て、3位入賞となりました。ご苦労さん会は大いに盛り上がりました。こうした試合を通して、世代を超えて地域のみなさんが顔なじみになり、絆づくりに一役買っていること間違いなしです。私も、和気あいあいとそれでいて真剣なプレーに声援を送りました。

年間通じて、コツコツと練習に励んでこられたコーチ、選手、役員のみなさん、本当にお疲れ様でした。

その3

2. 20 台湾の高校生4人が、わが家に



ユーユー立科の事業に協力し、2回目のホストステイを受け入れました。前回の4人の高校生とはずいぶん違って、無邪気な子どもたちでした。

コートも着込んできましたが、わが家に着いたときには、ぐしゅぐしゅと鼻水をたらしていた子がいました。こちらの寒さで風邪をひいたのでしょうか。半天を貸してあげましたが、ずいぶん「寒い、寒い」とっていました。

せっかく日本に来たのだからと、「吊るし飾りの館」を見学してもらい、吊るしのカワイイ金魚づくりに挑戦。夫の石の部屋も見学し、鉱物のコレクションを見てもらいました。夕食は「餃子」作るのを手伝ってもらいましたが、あまり慣れていないようです。でも大判二袋の餃子を全部平らげました。

私の羽織も好きなものを選んでもらい着用体験もしました。自撮りを盛んにしていました。

日本とは違うなと思ったのが、彼女らはみな化粧をしていることと、時間の感覚がルーズだということ。「7時に起床、7時半に食事、8時には出発」と伝えておいたが、みなのおんびりしていて、せかさないと間に合いません。以前の高校生と同様、朝は苦手なようで、布団の上げ下げも覚束なかったです。将来の夢を聴くと「弁護士」、「医者」と答えます。無邪気に見えますがしっかりと将来を考えていることも感心しました。

日本で、よい思い出となってもらえればと思います。若い彼女らとの交流で一足早く春が来たようでした。

全員協議会より

「戸籍システムの共同化」打ち出される

2.5の全員協議会で、戸籍システムをこれまでの「町庁舎内」から「外部のデータセンターに集中し管理運営をする」という戸籍システム共同化の方針が町民課長より報告されました。立科町は軽井沢町、川上村、南相木村、北相木村と一緒に平成33年11月より、南牧村のセンターに管理運営を任せたいというものです。全部で12市町村が参加する予定だということです。

データを集中し一括管理することで経費の削減や共同利用に対して特別交付税措置が得られるということですが、その必要があるでしょうか。データの流出や不正利用の危険性を指摘しました。

ふじおか県議とともに
佐久地域を元気にするつど
い

3月3日 午後3時半 開会

佐久平交流センター

藤岡義英県議・井上哲士参議院議員

・ながせ由紀子選挙区・小林伸陽県議

団長がごあいさつ